

LIGHT GUIDE PLATE

Publication number: JP2002040260

Publication date: 2002-02-06

Inventor: UEDA YOSHIO

Applicant: ASAHI NAT LIGHTING CO LTD

Classification:

- international: F21V8/00; G02B6/00; F21V8/00; G02B6/00; (IPC1-7):
G02B6/00; F21V8/00; F21Y101/02

- european:

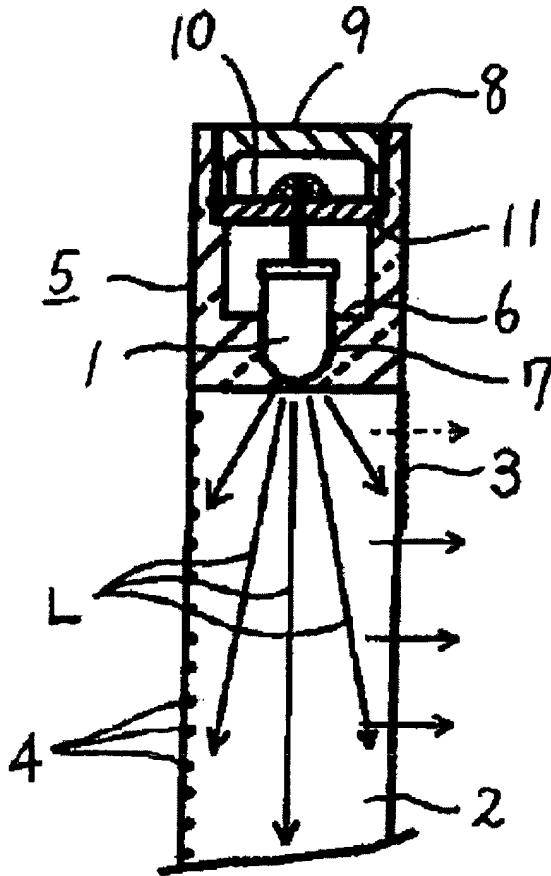
Application number: JP20000224487 20000725

Priority number(s): JP20000224487 20000725

[Report a data error here](#)

Abstract of JP2002040260

PROBLEM TO BE SOLVED: To moderate optical stripe patterns generated near a light guiding part of a light guide plate. **SOLUTION:** The light guide plate 2 guides light L from a plurality of light emitting elements (light emitting diodes, for example) 1 provided in a row and a light semitranslucent surface 3 is formed in a light emitting surface of the light guide plate 2 near the light guiding part of the light guide plate 2. The light guide plate 2 is formed of a transparent material such as an acrylic resin and the light semitranslucent surface 3 may be formed by subjecting a surface of the light guide plate 2 to surface-roughening or is formed by sticking a light semitranslucent tape on the surface of the light guide plate 2.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-40260

(P2002-40260A)

(43)公開日 平成14年2月6日 (2002.2.6)

(51)Int.Cl.⁷

G 0 2 B 6/00
F 2 1 V 8/00

識別記号

3 3 1
6 0 1

F I

G 0 2 B 6/00
F 2 1 V 8/00

テマコード(参考)

3 3 1 2 H 0 3 8
6 0 1 E
6 0 1 A

// F 2 1 Y 101:02

F 2 1 Y 101:02

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全3頁)

(21)出願番号

特願2000-224487(P2000-224487)

(22)出願日

平成12年7月25日 (2000.7.25)

(71)出願人 392000567

朝日ナショナル照明株式会社
三重県上野市ゆめが丘7-7-6

(72)発明者 上田 良生

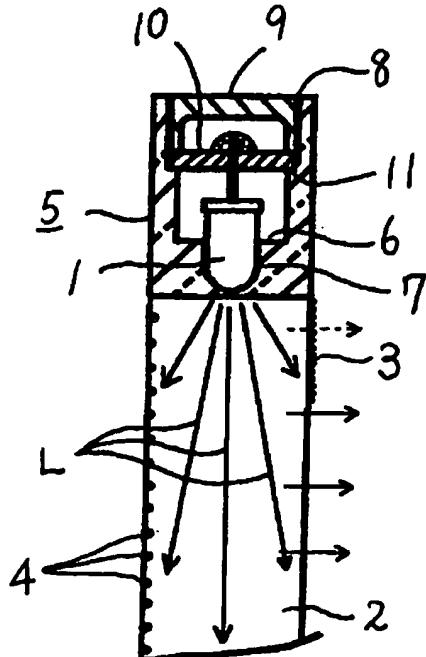
三重県上野市市部羽根川2449番 朝日ナシ
ヨナル照明株式会社内
Fターム(参考) 2H038 AA52 AA55 BA06

(54)【発明の名称】 導光板

(57)【要約】

【課題】 導光板の光導入部付近における光筋模様を緩和する。

【解決手段】 列状に設けた複数の発光素子（例えば発光ダイオード）1からの光を導入する導光板2であって、導光板2の光導入部付近において導光板2の光放出面に半透光面3を形成したものである。導光板2はアクリル樹脂などの透明材で形成され、半透光面3は、導光板2の表面を粗面加工して形成しても、導光板2の表面に半透光性のテープを貼り付けて形成してもよい。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】列状に設けた複数の発光素子からの光を導入する導光板であって、光導入部付近において導光板の光放出面に半透光面を形成した導光板。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、列状に設けた複数の発光素子からの光を導入する導光板に関する。

【0002】

【従来の技術】列状に設けた複数の発光素子からの光を導入する導光板では、導光板の一側面に多数の細かな筋模様を形成するなどして反射面を形成し、その対向面となる光放出面から光を放出していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、複数の発光素子が点在しているため、導光板の光導入部付近において光放出面に発光素子の光筋模様が視認される弊害があった。本発明はこのような解決すべき課題を鑑み、導光板の光導入部付近における光筋模様を緩和することを目的とする。

10

【0004】

【課題を解決するための手段】請求項に示した通りである。

【0005】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施形態を説明するが、それはあくまで本発明に基づいて採択された例示的な実施形態であり、本発明をその実施形態に特有な事項に基づいて限定解釈してはならず、本発明の技術的範囲は、請求項に示した事項さらにはその事項と実質的に等価である事項に基づいて定めなければならない。

20

【0006】図示の実施形態は、列状に設けた複数の発

2

光素子（例えば発光ダイオード）1からの光Lを導入する導光板2であって、導光板2の光導入部付近において導光板2の光放出面に半透光面3を形成したものである。導光板2はアクリル樹脂などの透明材で形成され、半透光面3は、導光板2の表面を粗面加工して形成しても、導光板2の表面に半透光性のテープを貼り付けて形成してもよい。

【0007】さらに詳述すれば、導光板2の光放出面と反対側の面には多数の細かな筋模様4が形成されて光反射面が形成される。導光板2の光導入部面には複数の発光素子1を収めた発光ユニット5が設けられ、発光ユニット5は、透明材の背部に形成した溝6の底面に設けた凹部7内に発光素子1が収められ、溝6の開口8に蓋9をビス止めや接着などの適宜手段で取り付けたものである。そして、発光素子1は基板10に半田付けされ、基板10は溝6の中間段部11と蓋9とで挟まれている。

【0008】本実施形態によれば、導光板2の光導入部付近において導光板2の光放出面に半透光面3を形成したため、導光板2の光導入部付近における光筋模様を緩和でき、導光板2の光放出面の光量を略一様化することに寄与する。なお、半透光面3の光透過率を光導入部寄りを低くするなど適当なグラデーションを付けてもよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】部分断面図

【図2】簡略化して示した分解斜視図

【符号の説明】

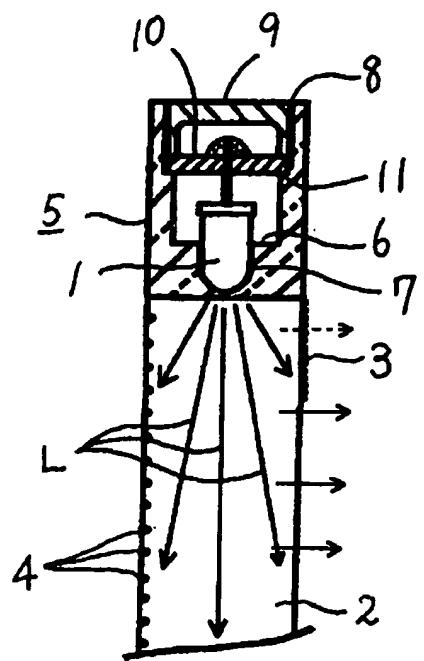
1 発光素子

L 光

30 2 導光板

3 半透光面

【図1】



【図2】

